

# 木下昌輝トークショー

聞き手：大矢 博子

## テーマ「岐阜の戦国時代を読む」

斎藤道三が治め、明智光秀を生み、織田信長が名付けた岐阜。  
天下分け目の合戦が繰り広げられたのも岐阜の関ヶ原でした。  
大河ドラマでも注目を集めた岐阜の戦国時代とはどのようなものだったのか？  
岐阜を舞台にした「まむし三代記」などの著作がある歴史小説家・木下昌輝先生に  
小説と史実との関係や執筆の裏側なども含め、お話を伺います。

日時：11月28日(土) 【講演会】14:00～15:30(13:30 開場)

【サイン会】15:30～16:00

(13:00 より整理券を配布します)

場所：各務原市立中央図書館 4階 多目的ホール

対象：一般

定員：80名(申込順・入場無料)

受付：11月1日(日)10:00より

各務原市図書館窓口・電話(058-383-1122)・FAX(058-371-1145)

メール([library@city.kakamigahara.gifu.jp](mailto:library@city.kakamigahara.gifu.jp) 件名は「木下昌輝講演会」)にて受付

※申し込みの際は「参加者の氏名」「年齢」「電話番号」をお知らせください。

お願い：講演会及びサイン会はマスク着用をお願いします。

また、当日発熱など体調がすぐれない方はご遠慮ください

### 木下 昌輝 (きのした まさき)

1974年生まれ 奈良県出身 歴史小説家

2012年『宇喜多の捨て嫁』で第92回オール読物新人賞を受賞し、作家デビュー。

『宇喜多の捨て嫁』『敵の名は、宮本武蔵』『宇喜多の楽土』が直木賞候補となる。

2019年『絵金、闇を塗る』が第7回野村胡堂文学賞を受賞

2020年『まむし三代記』が第9回日本歴史時代作家協会賞受賞、第26回中山義秀文学賞を受賞。



(c) saori.hayakawa



### 聞き手・大矢 博子 (おおや ひろこ)

書評家。名古屋市在住。

CBC ラジオ「多田しげおの気分爽快!!朝からP・O・N」(毎週木曜日8:30頃「私のポン棚」)に出演中。

著書に『歴史・時代小説 縦横無尽の読みくらべガイド』他